

事務事業実績測定調査

10526020002	私設メーター取替費用補助事業		
測定年度	2019(R1)年度	18000130	上下水道経営部営業料金課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	88.市民の生活や産業活動を支えるため、安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1995(H07)年度		～		
根拠法令等	計量法・集合住宅等に係る私設メーター取替費用の補助に関する要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	集合住宅等の所有者が計量法に規定する期限内に計画的に私設水道メーターの更新を図っていくこと。				
事業概要	<p>私設水道メーター取替事業補助金交付申請について、申請内容の審査及び取替え後の検査等を行い、補助金の交付を行う。</p> <p>■事務処理の概要</p> <p>①私設水道メーター取替事業補助金交付申請の受付 ②申請内容審査→補助金交付予定決定通知書の送付 ③取替え事業完了報告書の受理→現場調査→合格通知書の送付 ④補助金交付請求書の受理→補助金の交付(指定口座振込み)</p> <p>■制度改定について</p> <p>本制度は、公費負担の公平性の観点から検討を行い、平成28年度から制度改定を行っている。 改定内容:①補助対象水道メーター:全ての私設水道メーター→本市が検針している私設水道メーター ②補助額:直読式メーター7,000円/個→4,500円/個 遠隔指示式メーター16,400円/個→12,500円/個</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	集合住宅等の所有者が計量法に規定する期限内に私設メーターを更新される割合 【算出式:期限内に更新された私設メーターの件数/本市が検針している私設メーターの件数】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	51.72	80	82	84		
実績	51.72					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.80	1.30	0.91
正職員数	0.90	0.90	0.80
非正規職員数(計)	0.90	0.40	0.11
再任用職員数	0.90	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.40	0.11
■人件費総額(千円)	11,087	7,156	6,614
正職員人件費(換算額)	7,087	7,156	6,414
非正規職員人件費(計)	4,000	0	200
再任用職員人件費(換算額)	4,000	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	200
■直接経費(千円)	15,614	19,470	11,014
■事務事業の総計(千円)	26,701	26,626	17,628
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	26,701	26,626	17,628

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	51.72%	50%以上80%未満 : やや低い
事務事業の実績	<p>■補助金交付に係る各種事務を執行</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆補助建物数:74件 ◆補助金交付数:直読式メーター:967個、遠隔式メーター533個 ◆補助総額:11,014,000円 <p>【参考】R2予算要求交付数:直読式メーター:1,300個、遠隔式メーター3,100個</p>	
今後の方向性	改善	
具体的な 今後の取組方針	補助金の見直しに関する方針(平成28年9月)に基づき、当該補助金はサンセット方式(令和2年度～令和4年度)が導入されていることから、令和5年度以降については、同補助金がこれまで果たしてきた役割、この間の見直しの効果検証、補助金額の妥当性等について検討し、必要な見直しを行っていく。	

事務事業実績測定調書

10526020003	水道料金・下水道使用料賦課徴収事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	18000130	上下水道経営部営業料金課
総合計画体系	基本目標	5. 自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26. 安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	88. 市民の生活や産業活動を支えるため、安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	不明		~		
根拠法令等	水道法・枚方市水道事業給水条例・下水道法・枚方市下水道条例 等				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	すべての使用者が滞納無く納付期限内に納付している状態。				
事業概要	<p>水道使用者に対して、水道料金及び下水道使用料を賦課(算定・請求)し、徴収を行う。</p> <p>■事務処理の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ①水道使用申込(開栓)の受付 ②検針(使用水量確定) ③水道料金及び下水道使用料の算定(調定) ④水道料金及び下水道使用料の請求(口座振替・納付書送付) ⑤水道料金及び下水道使用料の徴収 				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	水道料金徴収率 (現年度分翌年度5月末) 【算出式: 現年度徴収額 / 現年度調定額】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	99.30	99.32	99.33	99.34		
実績	99.36					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	7.22	8.26	8.89
正職員数	5.30	5.30	5.60
非正規職員数(計)	1.92	2.96	3.29
再任用職員数	1.85	2.75	2.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.80
臨時職員数	0.07	0.21	0.49
■人件費総額(千円)	50,157	55,676	57,437
正職員人件費(換算額)	41,732	42,140	44,895
非正規職員人件費(計)	8,425	13,536	12,542
再任用職員人件費(換算額)	8,221	13,536	10,196
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	1,414
臨時職員人件費(実額)	204	0	932
■直接経費(千円)	272,685	275,802	418,375
■事務事業の総計(千円)	322,842	331,478	475,812
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	322,842	331,478	475,812

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	99.36%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<p>■水道料金及び下水道使用料の賦課・徴収に係る各種事務を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆開栓受付: 14,298件(内、インターネット受付1,033件) ◆閉栓受付: 12,141件(内、インターネット受付907件) ◆水道メーター検針: 1,064,298件 ◆水道料金及び下水道使用料の調定、請求(口座振替、納付書送付) 水道料金(調定件数: 967,595件、調定金額: 6,177,497,971円、令和2年5月末現在の徴収率: 99.36%) 下水道使用料(調定件数: 882,161件、調定金額: 6,418,305,876円、令和2年5月末現在の徴収率: 99.35%) ◆訪問徴収: 37,771件(内、給水停止: 1,490件) ◆上下水道料金システムの活用(債権管理等) ◆水道料金等福祉減免の実施: 減免世帯数11,764件(令和2年3月末日現在) ◆検針方法等に係る協定締結: 10件 ◆漏水減額: 756件 ◆臨時使用に係る予納金の還付: 10件 ◆各種統計事務 等 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>枚方市債権管理及び回収に関する条例を踏まえて、適正な賦課・徴収を執行していく。また、委託業者による徴収サイクル(督促・催告・訪問徴収・給水停止予告・給水停止)にあわせ、債権回収課所属の弁護士と連携し、滞納処分等の法的措置を効果的に実施することにより徴収強化に取り組む。</p>	

事務事業実績測定調査

10526030008	下水道事業受益者負担金賦課徴収事務		
測定年度	2019(R1)年度	18000130	上下水道経営部営業料金課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	89.河川や水路、池などの水質汚濁の防止を図るため、公共下水道の整備を促進するとともに、生活排水等の適正処理を進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	1966(S41)年度		~		
根拠法令等	都市計画法・東部大阪都市計画下水道事業受益者負担に関する条例 等				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	すべての対象者が滞納無く納付期限内に納付している状態。				
事業概要	<p>公共下水道排水区域の土地所有者等に対して、受益者負担金を賦課(算定・請求)し、徴収を行う。</p> <p>■事務処理の概要</p> <p>①公共下水道排水区域の確認(現地調査含む。)</p> <p>②受益者負担金賦課対象土地通知書(事前通知)の送付</p> <p>③受益者負担金に関する相談会の開催</p> <p>④受益者変更・賦課保留・減免に係る申請の受け付け・審査</p> <p>⑤受益者負担金の算定(調定)</p> <p>⑥受益者負担金の請求(納付書送付)</p> <p>⑦受益者負担金の徴収</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	受益者負担金徴収率(現年度分) 【算出式: 現年度徴収額 / 現年度調定額】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	95	95	96	97		
実績	97.23					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.75	1.80	1.71
正職員数	1.75	1.75	1.60
非正規職員数(計)	0.00	0.05	0.11
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.05	0.11
■人件費総額(千円)	13,780	13,914	13,027
正職員人件費(換算額)	13,780	13,914	12,827
非正規職員人件費(計)	0	0	200
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	200
■直接経費(千円)	1,225	1,824	2,128
■事務事業の総計(千円)	15,005	15,738	15,155
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	15,005	15,738	15,155

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	97.23%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<p>■受益者負担金の賦課・徴収に係る各種事務を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆徴収実績 <ul style="list-style-type: none"> 調定件数:469件 現年度:調定額 15,079,7000円 徴収額:14,661,500円 徴収率:97.23% 滞納繰越分:調定額:1,779,500円 徴収額:589,900円 徴収率:33.15% ◆受益者負担金の調定、納付書の送付 ◆受益者負担金システムを活用(債権管理等) ◆相談会の実施 ◆訪問徴収の実施 ◆滞納処分(差押さえ)の実施 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も引き続き、受益者負担金の適正な賦課・徴収を行い、各種事務を執行していく。令和2年度は、債権管理の強化、効率的でより効果的な徴収体制の構築、滞納の未然防止の取り組みを柱に取り組みを推進する。	

事務事業実績測定調書

10999990161	営業料金課運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	18000130	上下水道経営部営業料金課
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営事務が円滑に進む。				
事業概要	課の運営業務				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし				
指標の説明	—				
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位
目標(予測)	—	—	—	—	
実績					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.00	1.00
正職員数	0.00	0.00	1.00
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	0	8,017
正職員人件費(換算額)	0	0	8,017
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	0	0	8,017
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	8,017

4. 実績測定

	実績／目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度		
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・庶務事務 ・予算および決算に関する事務 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	事務の効率化を図り、事務の適切な執行に努める。	